

マツダ ノブキ  
松田 信樹

生涯福祉学部・准教授  
修士／神戸大学

#### 主な研究業績

■「恐怖管理理論研究の概要」  
『自己心理学』 第1巻 2003年

■「離島に暮らす高齢者の心理的特徴」  
『自己心理学』 第2巻 2005年

■「自尊感情の脆弱性」 榎本博明  
(編) 自己心理学 2008年 金子  
書房 Pp25-26.

#### 研究テーマ

## 自尊感情の脆弱性

#### 概要

従来、自尊感情に関する研究は、自尊感情の高低すなわち水準に焦点を当て、自尊感情と他の心理学的諸変数との関連を検討するのが常であった。しかし、そのような諸研究から得られた知見は相反するものが多く、水準にのみ焦点を当てることの限界が指摘されるようになった。そこで、自尊感情を水準からではなく、種々の次元からとらえ直そうとする動きが盛んになってきた。そのような流れの中で、自尊感情の脆弱性という新たな次元を提唱する。

自尊感情の脆弱性とは、自己の諸側面における失敗あるいはいたらなさが全般的な自己価値感情を損なう程度のことである。そのように定義される自尊感情の脆弱性を測定する尺度を開発し、信頼性ならびに妥当性も検討している。また、自尊感情が脆弱である者は、セルフ・ハンディキャッピングなど自尊感情を防衛するためのストラテジーを用いがちであることも、明らかにされている。

#### 応用分野

自尊感情への欲求は基本的欲求のひとつと考えられていることから明らかなように、肯定的な自己価値感情を保つことは精神的健康や社会的適応を保つ上で、非常に重要であろう。人生においてさまざまな失敗が不可避ならば、失敗によって損なわれない頑強な自己価値感情を持つことが必要となる。自尊感情の脆弱性を鍵概念として、精神的（不）健康や社会的（不）適応などについて検討することには意義があるだろう。

自尊感情の脆弱性に個人差をもたらす要因に関して、発達心理学的に検討することも不可欠だと考えている。

#### 共同研究へのニーズ

若者、あるいは若者だけではなく広く一般に、キレるという衝動的攻撃行動と自尊感情の脆弱性とは関連があるのだろうか、そしてもし関連があるとするのならいかなる関連があるのかを明らかにする研究を展開していきたい。

また発達の観点から、自尊感情の脆弱さ - 頑強さをもたらす養育のありかた、あるいは人間関係のありかたも追求していきたいと考えている。